

## 「ケア内容検討会」の検討状況について

### 目的

- これまで、施設における実態を詳細に把握するために、タイムスタディ調査(業務量調査)等を実施し、結果の一部について社会的養護専門委員会に報告を行ってきたところ。
- その結果等を踏まえ、今後は、子どもの状態を適切に把握する指標の開発やケア標準の作成が取り組むべき課題と考えられた。
- そのため、「ケア内容検討会」を開催し、グループインタビューに協力いただいた施設において、実際に子どものケアに携わっている職員に参加いただいて、具体的なケアの内容・自立支援計画などについてヒアリング・分析を行い、「子どもの状態に応じた適切なケア」とは何かという共通認識を作成し、ケアの向上を図っていくにあたり必要な議論のために、たたき台の作成を進めている。

### メンバー

委員長	山縣 文治	大阪市立大学大学院人間福祉学科教授
	筒井 孝子	国立保健医療科学院福祉サービス部福祉マネジメント室長
	西山 秀則	みちのくみどり学園養育部長(児童養護施設)
	大塚 哲司	梅光児童園施設長(児童養護施設)
	山下 学	鳥取こども学園希望館副館長(情短施設)
	中島 喜伸	大村椿の森学園園長(情短施設)

### 検討経過および今後の予定

これまで、平成22年7月21日(水)に第1回を開催し、8月24日(火)、10月27日(水)、12月1日(水)の4回開催。年度内にあと1回程度開催予定。

- ① 委員の所属施設で実際に作成している自立支援計画を提出していただき、支援目標や支援内容の共通項を見出して整理し、支援目標のテーマ分類案等を作成する。
- ② 各テーマ分類案等毎に、児童の目標およびその際に行われる職員の支援内容について整理を行う。
- ③ 成果物を社会的養護専門委員会へ報告予定。
- ④ 来年度は新たな検討の場を立ち上げ、全国の児童養護施設等から広く意見をいただき、検討を深め、全国の施設で取り組まれている支援内容を集めるとともに、児童目標の達成状況について第三者や児童本人にもわかるようなチェックリストを作成する。